



# アフリカの経済発展とビジネスを通じた 日本の支援のあり方について

2009年3月26日

日本貿易振興機構(ジェトロ)

村橋 靖之

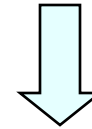
## 今日のテーマ

- アフリカ経済の今
- 日本とアフリカの経済関係
- 日本企業の対アフリカビジネス
- アフリカビジネスの可能性
- 新たな発想とアプローチ  
(ジェトロの取り組みも紹介)

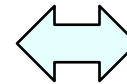
## アフリカ経済の今



失われた20年  
(80's~90's)



成長を始めた経済  
過去5年の平均GDP成長率は6%を超える



2008年9月以降の世界的金融危機の影響  
中国・韓国との市場獲得競争

## 拡大する貿易、新興国が牽引

### ■世界の対アフリカ貿易

- ・対世界シェアは2.4% (2007年、IMF)
- ・過去6年で2.7倍 2001年: 2,506億ドル → 2007年: 6,770億ドル

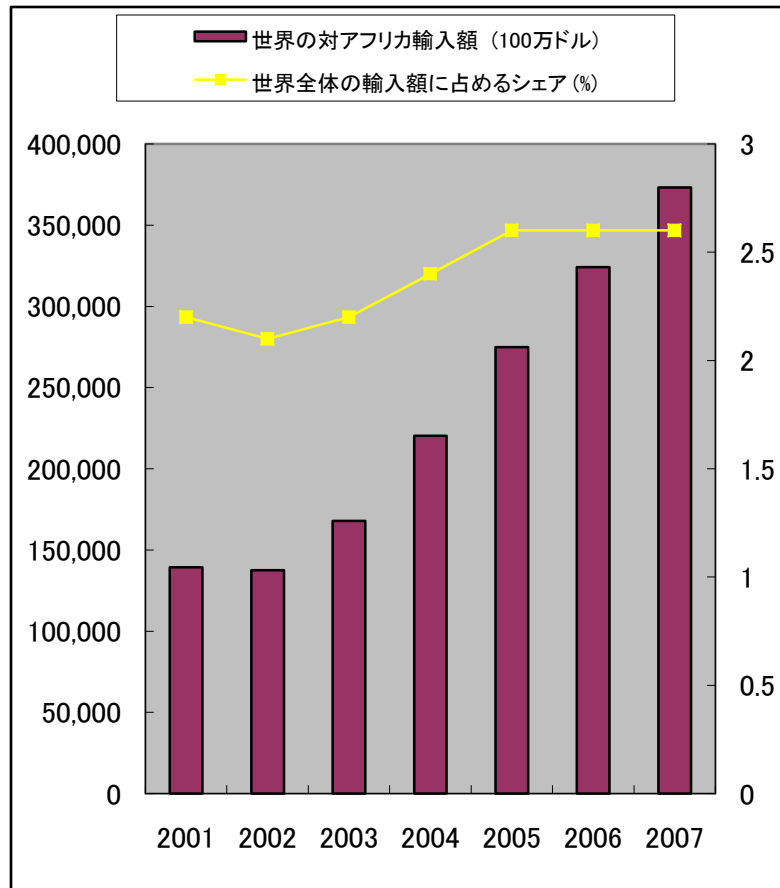
### ■世界の対アフリカ輸入

- ・鉱物性燃料が輸入全体の65%以上
- ・インド、中国など新興国による資源輸入増
- ・今やアフリカは資源国

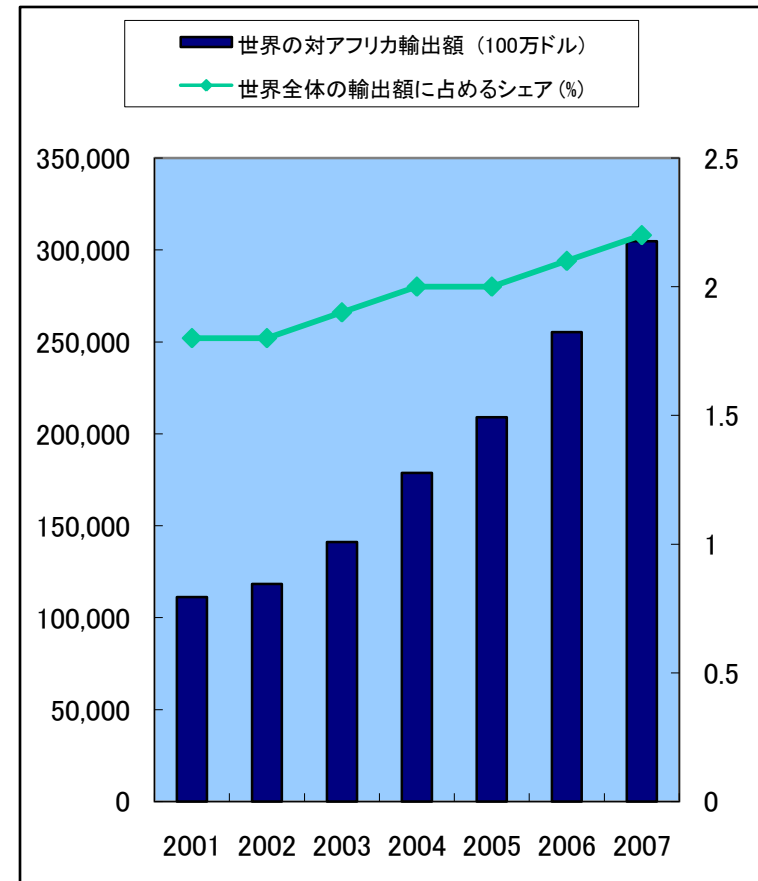
### ■世界の対アフリカ輸出

- ・輸送機器(自動車含む)、一般機械、電気機器

### ＜世界の対アフリカ輸入額＞



### ＜世界の対アフリカ輸出額＞



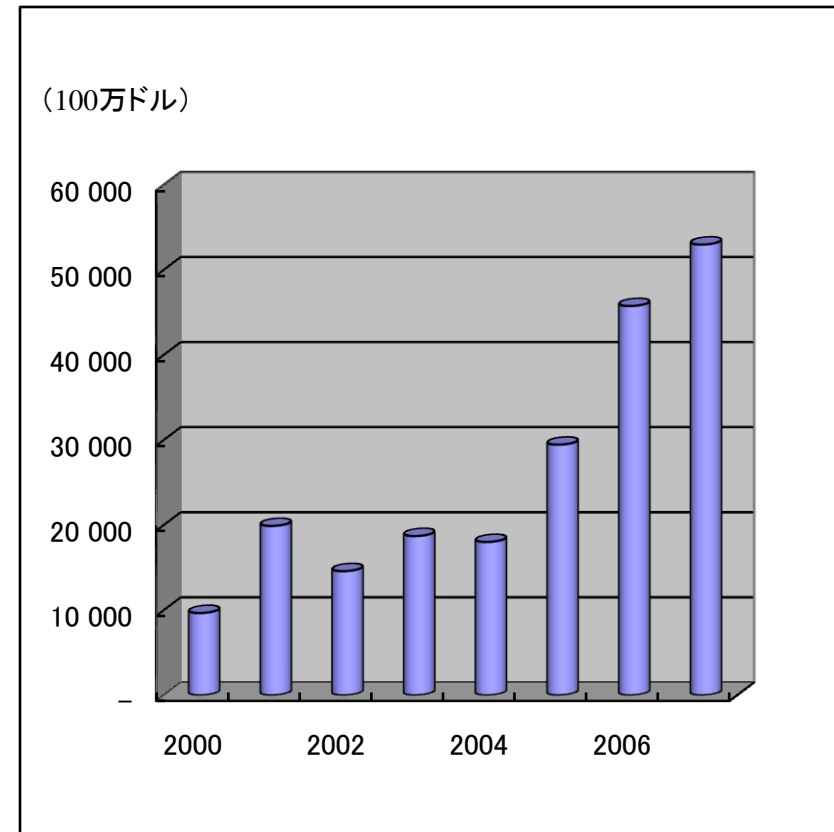
注：北アフリカ含む

資料：Direction of Trade Statistics Yearbook 2007 (IMF)からジェトロ作成

## 増加するアフリカへの直接投資

- 世界の対アフリカ直接投資額 (FDI)
  - ・2007年は530億ドル(国際収支ベース、フロー)と過去最高。  
2006年比16%増
  - ・2004年比で約3倍
  - ・資源採掘産業とサービス業(通信、金融)が中心
  - ・ただし、受入国にバラつき  
ナイジェリア、スーダン、南アなど資源国に集中。  
エジプト、モロッコなど北アフリカは堅調

＜世界の対アフリカ直接投資額の推移＞



注：北アフリカ含む

資料：World Investment Report 2008 (UNCTAD)からジェトロ作成

<アフリカ各国のFDI受入額(2006、2007年)>

※北アフリカ及び資源国に集中

世界からのFDI受入額・上位10カ国

(単位:100万ドル)

順位	国	2007年	2006年
1	ナイジェリア	12,454	13,956
2	エジプト	11,578	10,043
3	南アフリカ	5,692	△527
4	モロッコ	2,577	2,450
5	リビア	2,541	2,013
6	スーダン	2,436	3,541
7	赤道ギニア	1,726	1,656
8	アルジェリア	1,665	1,795
9	チュニジア	1,618	3,312
10	マダガスカル	997	294

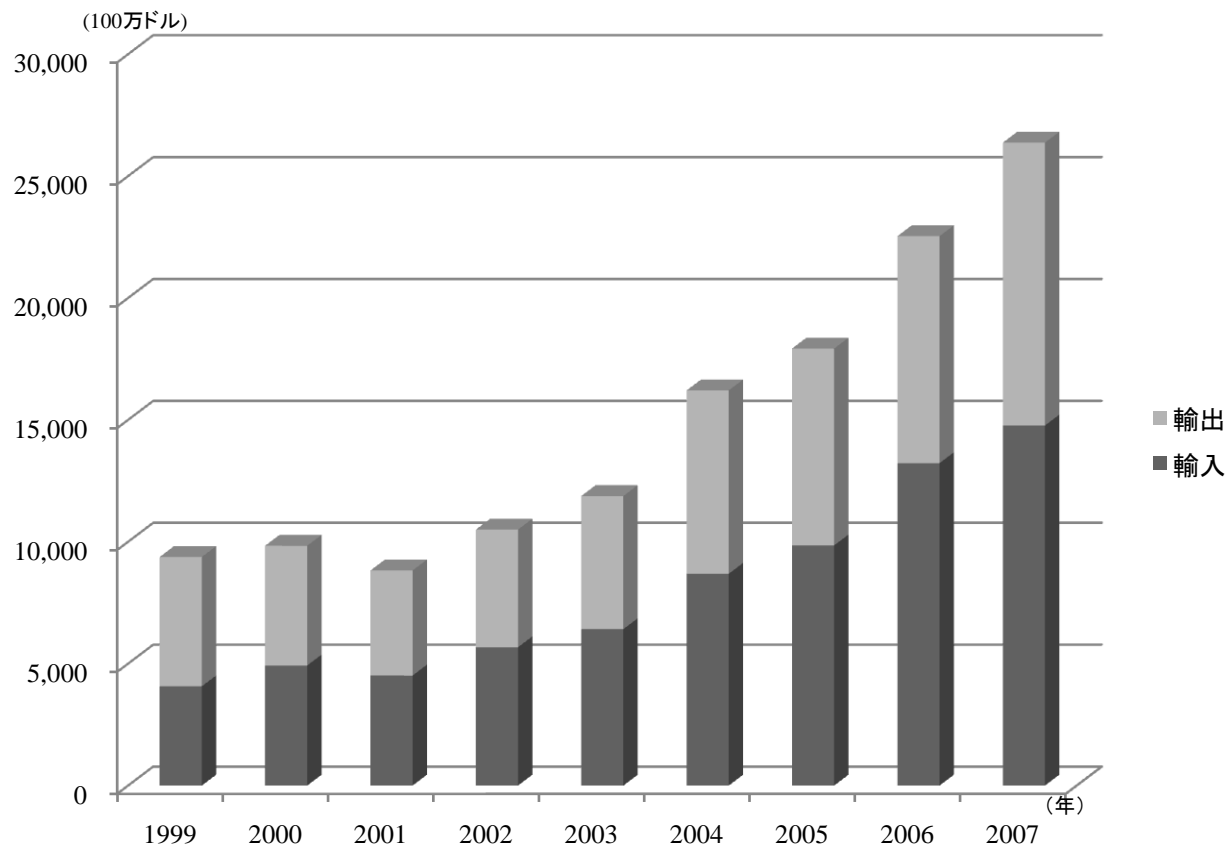
(出所:World Investment Report 2008 (UNCTAD)よりジェトロ作成)

## 日本とアフリカの経済関係

- 順調に拡大する日本の対アフリカ貿易
  - ・2007年は、輸入が前年比11.3%増(148億ドル)  
輸出が22.6%増(116億ドル)
- 日本からの対アフリカ直接投資残高は約39億ドル(2007年末;  
財務省統計)で、全体の0.7%に過ぎない。  
ちなみに対アジアは1,329億ドル。
  - ・そのうち南ア向けが全体の22%。自動車(トヨタ、日産など)、  
鉱山関連(三菱商事など)が中心
  - ・南ア以外では、エジプト、モザンビーク、アルジェリアなど



## ＜日本の対アフリカ(53カ国)輸出入額の推移＞



注: 北アフリカ含む

出所: 財務省「通関統計」よりジェトロ作成

## ■南アとの経済関係が軸

- ・日本の対アフリカ輸出の40%、輸入の52%が南ア
- ・金額で上位を占めるのは資源国

## ■輸出の36%が輸送機器、24%が乗用車

輸入の76%が鉱物性燃料と金属

<日本の対アフリカ輸出入(2007年)>

(単位:100万ドル)

順位	輸入相手国	輸入額	順位	輸出相手国	輸出額
1	南アフリカ共和国	7,722	1	南アフリカ共和国	4,607
2	スーダン	2,681	2	エジプト	1,290
3	ナイジェリア	679	3	リベリア	1,194
4	エジプト	843	4	アルジェリア	853
5	赤道ギニア	587	5	ナイジェリア	733

(資料:World Trade Atlasよりジェトロ作成)

<日本の対アフリカ輸出入>

(単位:100万ドル,%)

輸入品目	2006年	2007年		
	輸入額	輸入額	シェア	伸び率
合計	13,266	14,770	100	11.3
鉱物性燃料及び鉱物油	5,399	5,653	38.2	4.7
貴石、貴金属	4,431	5,572	37.8	25.8
乗用車	945	809	5.5	▲ 14.4

輸出品目	2006年	2007年		
	輸出額	輸出額	シェア	伸び率
合計	9,459	11,602	100	22.7
輸送機器	3,310	4,228	36.4	27.7
乗用車	2,290	2,748	23.7	20.0
一般機器	1,693	2,113	18.2	24.8

(資料:財務省「貿易統計」よりジェトロ作成)

## 日本企業の対アフリカビジネス

### ■進出は資源と南ア中心。製造業はごく少数。

- ・対南ア進出日系企業は約70社(2009年2月現在)。トヨタ、日産、ブリヂストンなど自動車関連が中心。

その他の国は限定的。モザンビークのモザール(三菱商事)、タンザニアの住友化学、松下電池、ナイジェリアのホンダ(二輪車)、マダガスカルの住友商事(ニッケル)など

### ■ジェトロの在アフリカ進出日系企業実態調査(2007年度実施)の結果

(26カ国、227社に対してアンケートを実施。うち112社から回答)

- ・過去5年間の業績は約6割が改善—売上げの増加
- ・アフリカ市場の将来性に期待—ODAビジネスから商業ベースへ
- ・法制度の整備・運用(知的財産権対策)、雇用・労働問題が課題
- ・従業員教育と地域社会貢献がカギ
- ・中国企業とは競合とチャンス両面

## アジアの成功をアフリカに？！

### ■アジアとアフリカの違い

- ・弱い製造業基盤→少ない製造業投資
- ・希薄なアフリカ進出の必然性
- ・様々な高リスク、高コスト

### ■アジアの成功をアフリカに！は可能か？

- ・アジア型成功アプローチが可能な国はごく少数(北アフリカと南アのみ)
- ・適用できない円借款モデル
- ・あまりに違いすぎる社会基盤、人材



将来的なポテンシャルはあるものの、現状はなかなか難しい  
⇒アジアでの成功体験とは違うアプローチを模索する必要あり

## 日本企業のアフリカ・ビジネスの可能性

- アフリカ成長の鍵は民間ビジネスの活発化  
しかし、市場原理に任せておくと何も進まない、という現実
  
- 官民連携によるアプローチ：TICADIVでのキーワード  
民間企業のイニシアティブを官（政府）がサポートするシステム作り  
⇒ 模索される「官民連携」のあり方
  - ・ 欧米先進例：USAID（米）、DFID（英）、GTZ（独）の取組み
  - ・ 企業ニーズにODAを合わせる→民間主導のプロジェクトにODAを
  - ・ 様々なビジネスをサポート（インフラ、販路開拓など）
  - ・ 中国、韓国との市場獲得競争
  
- “点（＝成功例）”を増やすアプローチ  
小さくてもよいから、アフリカでのビジネス成功例を増やす

## 新たな発想とアプローチの必要性

### ■ BOP (Bottom of Pyramid) ビジネス／ソーシャル・ビジネスへの挑戦

- ・1日2ドル未満で暮らしている人たち(40億人)を対象とするビジネス・モデル
- ・これまでにない発想＝“イノベーション”
- ・政府に頼らないビジネス・モデル

### ■ ジェトロの「開発輸入実証事業」のアプローチ

日本企業がアフリカ等開発途上国産品を開発・改良し、輸入する取り組みを支援。公募により日本企業からの提案を採択。